

FAX通信



いでは

発行：平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



19.6.13
週報第 744 号

こども感染症情報

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第23週 (6/3~6/9) (22週)	
	発生数 (人)	前週との比較
感染性胃腸炎	24 (33)	↓
インフルエンザ	10 (24)	↓
溶連菌咽頭炎	5 (10)	↓
突発性発しん	2 (4)	↓
伝染性紅斑	1 (2)	↓
川崎病	1 (0)	↑
RSウイルス	0 (2)	↓
水痘	0 (1)	↓
咽頭結膜熱	0 (0)	→

(参考) 秋田県の状況 第22週 (5/27~6/2)
<全県の発生状況>
1位：感染性胃腸炎 (全県で前週より6%減少)
2位：溶連菌咽頭炎 (全県で前週より1.1倍増加)
3位：インフルエンザ (全県で前週より31%減少)
4位：突発性発しん
5位：水痘
県内 警報・注意報
注意報・警報はありません

※ 「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による

※ 「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

横手地域・学校欠席者情報 (6/10)

腸管出血性大腸菌感染症にご注意を!

県内では第22週までに4件の腸管出血性大腸菌感染症が報告されています。例年、気温が高くなる初夏から報告数が増加します。

Q 腸管出血性大腸菌とは?

A
ベロ毒素と呼ばれる毒素をだします。感染すると3~5日の潜伏期間後、激しい腹痛と水のような下痢を起こします。続いて、出血性大腸炎により血便がでることがあるのが特徴です。



疾患名	インフルエンザ	感染性胃腸炎	マイコプラズマ	水痘	流行性角結膜炎	溶連菌咽頭炎	伝染性紅斑	その他
施設 (数)								
保育所・園 (35)		12				1		2
小学校 (22)	1			3				
中学校 (8)	2							
高校 (7)	3							
特別支援学校								

感染症情報収集システムより (人)